

百七十七石 梅小路 土御門陰陽頭晴雄朝臣廿八從四位上 右兵衛佐

家司 若杉陰陽少允 星合右兵衛

同

御合印 御寺 梅林寺

〔譚海四〕土御門は、陰陽博士家也、因て改曆の奏を掌る、其家制作する所の、測量の書器等あれども、古代のものにして、西洋の精密なるに乏かざるゆへ、今時は關東に測量所を置れ御沙汰あれば、空名を持するのみ也、

〔平城坊目考二〕陰陽町當町南京陰陽師等住居、仍此名を號す、○中略

當所南都四家陰陽家住所其一なり、古老曰、當所陰陽師は、加茂氏吉備大臣眞備公之裔、而古へ吉備塚邊に住す、其後離散して、今の地に移ると云々、○中略 今按に、四箇陰陽師は、山上吉備塚、幸町、梨子原、陰陽町四箇所乎、

〔基量卿記〕元祿十二年六月三十日丁卯、水無月祓如例、陰陽師獻麻、

〔京都御役所向大概覺書一〕陰陽師之事

支配免許

洛中洛外

一塔之段毘沙門北半町

一寺町佛陀寺前町

一不明門通五條上ル町

一北野境内馬喰町

一北野右近馬場通下立賣上ル七軒町

支配

土御門兵部少輔

陰陽師

大黒刑部

若杉金大夫

小野主馬

松村河内

吉田平九郎